

平成 2 3 年度

田原本町教育委員会活動点検評価報告書

平成 2 4 年 2 月

田原本町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、平成22年度に田原本町教育委員会が実施した教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果について報告します。

平成24年 2月20日

田原本町教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会	3
点検・評価項目	
・ 幼児教育の推進	4
・ 小・中学校教育の推進	6
・ 障害児教育の推進	8
・ 学習体制の充実	10
・ 生涯学習環境の充実	12
・ 図書館事業の充実	14
・ 文化活動の促進	16
・ スポーツに親しむ環境の整備	18
・ スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	20
・ 生涯スポーツの推進	22
・ 文化財の保存整備体制の充実	24
・ 歴史遺産の活用	26
・ 郷土愛・文化財愛護精神の育成	28

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、田原本町教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

II 点検・評価の基本方針

1 点検・評価の目的

法改正を受け、町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、住民に公表することといたしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「田原本町第3次総合計画」第2章「人が生きいきと輝くまなびのまちづくり」の教育関連施策を点検・評価の対象としました。

点検・評価の対象年度は、平成22年度です。

(1) 田原本町教育委員会の運営・活動状況

(2) 「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検・評価(13施策)

3 点検・評価の方法

「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとに、進捗状況の参考となる指標及び実施事務事業の実績を掲載しています。

上記の指標及び実施事務事業の実績を基に、教育委員会で点検・評価を行っています。評価にあたっては、客観性を確保するために、外部の学識経験を有する方から施策や事業についてご意見をいただいております。

【点検評価委員】

(敬称略 五十音順)

役 職	氏 名	備 考
委 員	大 西 宏 興	学識経験者(教職経験者)
委 員	北 田 全 克	学識経験者(行政経験者)

田原本町教育委員会の運営・活動状況

1 教育委員

(平成23年 3月31日現在)

職名	氏名	職業	就任年月日	任期満了年月日
委員長	川本 益弘	無職	H16.12.23	H24.12.22
委員	森 章浩	団体役員	H21.12.24	H25.12.23
委員	里見 大聞	僧侶	H15.12.22	H23.12.21
委員	後藤田 和子	無職	H21. 3. 2	H23. 9. 21
委員(教育長)	片倉 照彦	公務員	H22. 9. 8	H25. 3. 31

2 教育委員会議の開催状況

- ・定例会……10回
- ・臨時会…… 2回

3 教育委員会議の審議状況

- ・報告事項……21件
- ・審議事項……22件

4 教育委員の活動状況

- ・定期学校訪問実施(年1回)……幼稚園5園・小学校5校・中学校2校
- ・幼稚園・小学校・中学校行事への参加……入園式・入学式・運動会・卒園式・卒業式及び各種研究会等
- ・各種研修会への参加……近畿市町村教育委員研修大会(貝塚市)・奈良県市町村教育委員研修大会・人権教育各種研究大会・青少年健全育成各種研究大会等
- ・各種行事への参加……成人式等

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	幼児教育の推進			総合計画位置づけ	2-1-1
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	

1. 施策概要

めざす 成果目的	幼児の心身の健全な発育を促すため、幼稚園・保育園・家庭が連携し幼児教育の充実を図る。また、保護者の経済的負担を軽減することにより、多くの幼児が充実した幼児教育を受けることができ、保護者も経済的な不安を感じないで通園させることができる。
施策概要	幼児教育環境の整備。就学前教育の推進。安心・安全な幼児教育の創出。幼児教育の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
公立・私立幼稚園就園率	%	60	60	60	60	60
対象年齢者に対する公立・私立幼稚園の園児在籍率		59				
(説明)						
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
幼稚園運営事業	教育総務課	233,453	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園施設管理整備事業	教育総務課	7,569	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園教育振興事業	教育総務課	1,988	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		243,010			

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	小・中学校教育の推進			総合計画位置づけ	2-1-2
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	児童・生徒及び保護者にとっても、安全で安心できる学校に通学することにより、確かな学力の定着を図ると共に、体力を向上させ、心豊かな人間性を育む。
施策概要	教育環境の整備。職業観や人生観の醸成。教育体制の確立。安心・安全な教育環境の整備。関係機関との連携。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
学校施設の耐震化率	%	67	74	81	93	95
強度を確保している学校施設の割合		67				
中学生の職場就労体験日数	日	3	3	3	3	3
中学生の職場体験学習の就労日数		3				
小・中学校へのALT(外国語指導助手)の派遣日数	日	254	286	286	286	286
小・中学校へのALT派遣日数		249				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
小学校運営事業	教育総務課	95,880	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校施設管理整備事業	教育総務課	109,673	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
学校給食事業	教育総務課	48,266	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校教育振興事業	教育総務課	8,239	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業	教育総務課	7,003	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校運営事業	教育総務課	42,912	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校施設管理整備事業	教育総務課	41,680	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業	教育総務課	3,698	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業	教育総務課	5,436	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
事務局運営事業(一部)[ALT派遣事業]	教育総務課	6,470	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		369,257			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい 児童・生徒の学力向上を目指し基礎・基本の学習に取り組んでいる。引き続き一人ひとりを大切に学習を進める。また、耐震化工事に関しては、学校施設耐震化計画によりほぼ順調に工事を施工している。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 全国平均を大きく下回っている体力の向上を図るため、運動する機会を確保するとともに、食育を推進する必要がある。また、児童・生徒が一日の大半を過ごす学校校舎の耐震化工事に関しては、東南海・南海地震防災対策推進計画に基づき大規模な地震の発生を予測して、学校施設耐震化計画を予定どおり施工している。
施策を進める上での問題点・課題	社会状況の変化に伴い、児童生徒の基本的な生活習慣が乱れる傾向にある。耐震化工事に関しては、施工に多額の工事費が必要となるため、財源の確保が課題となる。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	(複数選択可) <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現状の水準を維持する)				
施策を進める上での問題点・課題	田原本町教育委員会が策定した「学校教育の指導方針」の趣旨にそって、未来を切り拓く「確かな学力」の育成と「豊かな人間性」の涵養、これを支える「健康でたくましい心身」を重点目標として掲げる。さらに、各園・校において「感謝の心でいきいきあいさつ、正々堂々と生きる子どもたち」の育成を目指し、組織的で計画的な取り組みをすすめる。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	小学校運営事業	95,880	99,726	3 普通	現状のまま
	小学校施設管理整備事業	109,673	122,428	5 最優先・緊急的	拡大
	学校給食事業	48,266	53,862	3 普通	現状のまま
	小学校教育振興事業	8,239	18,794	3 普通	縮小
	小学校サポート体制支援事業	7,003	6,780	3 普通	現状のまま
	中学校運営事業	42,912	45,288	3 普通	現状のまま
	中学校施設管理整備事業	41,680	11,903	5 最優先・緊急的	拡大
	中学校教育振興事業	3,698	4,558	3 普通	拡大
	中学校サポート体制支援事業	5,436	5,935	3 普通	現状のまま
	事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	6,470	7,570	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	369,257	376,844		
内部評価のコメント	「確かな学力の育成」「豊かな人間性の涵養」「健康でたくましい心身の育成」を指導の重点とし、児童・生徒の発達段階をふまえたうえでの個々の発達に応じた適切な指導を展開し、学校教育全体の充実を図っている。また、耐震補強工事の実施により、子どもたちが安全・安心な環境の中で生活することができるとともに、災害時の避難場所としての機能も十分に発揮することができる。				
外部評価委員のコメント	次代を担う社会人として必要なたくましいからだ心を鍛え磨ける教育環境を整え、教職員の質的向上と人員確保に努め、児童生徒の発達段階に応じた適切な指導を展開して頂きたい。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	障害児教育の推進			総合計画位置づけ	2-1-3
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	学習障害(LD)、注意欠陥/多動性障害(ADHD)、広汎性発達障害(PDD)等も含めて、障害のある幼児・児童・生徒がいまいきとした学校生活を送り、一層の自立と社会参加を促す。
施策概要	幼児・児童・生徒に対して個々の発達に応じた適切な教育の推進。就学の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
特別支援教育コーディネーターの学校配置率	%	100	100	100	100	100
		特別支援教育コーディネーターの小・中学校配置率	100			
特別支援教育支援員の学校配置率	%	100	100	100	100	100
		特別支援教育支援員の小学校(5校)への配置率	100			
障害のある児童・生徒の就学率	%	100	100	100	100	100
		障害のある児童・生徒の就学率	100			

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
小学校教育振興事業(一部)	教育総務課	874	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業(一部)	教育総務課	273	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		1,147			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい 磯城郡就学指導委員会では、教育・医学・行政の専門家が検討し、総合的な判断を行っている。保護者にとって幼児・児童・生徒の障害の程度を基に適切な教育環境を考える判断材料となり、適正な就学につながっている。就学奨励費については、特別支援学級に在籍する児童・生徒に必要な経費の負担軽減に一定の成果を上げている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 障害のある幼児・児童・生徒の適正な就学を推進するために、各分野の専門官から構成される就学指導委員会は重要な役割を果たすものである。また、就学奨励費については、保護者の経済的負担の軽減のため必要不可欠である。
施策を進める上での問題点・課題	一人ひとりの教育的ニーズを把握するなど、適切な支援を行うための体制整備等が課題となっている。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	(複数選択可) <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現状の水準を維持する)				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	特別支援教育において、就学前から義務教育終了までの一貫した教育体制の構築を目指す。なお、就学援助に関しては、さらなる事務の効率化と適正な援助に努めていく。				
	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	小学校教育振興事業(一部)	874	1,271	3 普通	現状のまま
	中学校教育振興事業(一部)	273	326	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	1,147	1,597		
内部評価のコメント	障害のある幼児・児童・生徒の就学先を判断するにあたり、就学指導委員会を開き、専門的分野からの相談・指導・調査・判定をし、関係機関とも連携をしながら適切な方向性を示している。今後も適正な就学に努めたい。				
外部評価委員のコメント	本町においては、障害のある幼児、児童及び生徒に対する教育の推進並びに就学の支援はかなり充実しており、今後とも個々の発達に応じた適切な指導を維持・推進して頂きたい。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	学習体制の充実			総合計画位置づけ	2-2-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	多様化する町民のニーズに応え、自発的に学習できる体制の充実を図り、様々な学習機会を通じて人と人との繋がりを広げるとともに、自己を向上させて地域・町づくりに繋げる。
施策概要	各種教室・講演会・地区別懇談会等を開催して、様々な学習機会を提供する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
教室の開催数(公民館学習・放課後子ども教室・理科大好き教室等) 年間に開催した教室の数	回	300	300	300	300	300
		270				
教室への参加人数 年間の教室への参加人数	人	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
		7,500				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会教育総務事業	生涯教育課	62,222	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
生涯学習事業	生涯教育課	11,471	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
青少年健全育成推進事業	生涯教育課	6,030	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
人権教育指導事業	生涯教育課	1,916	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		81,639			

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	生涯学習環境の充実			総合計画位置づけ	2-2-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす 成果目的	安全で快適に利用できる施設環境の充実を図ることにより、住民の学習意欲が向上する。
施策概要	生涯学習施設として町民の方々に活用されており、安全・快適に利用できるように、保守点検・清掃業務等は民間の専門業者・シルバー人材センター等に委託し管理している。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画) (実績)	(目標/計画) (実績)	(目標/計画) (実績)	(目標/計画) (実績)	(目標/計画) (実績)
管理点検回数	回	310	310	310	310	310
年間の管理点検を実施した回数		310				
公民館貸館件数	件	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
年間の公民館貸館件数		2,750				
利用人数	人	55,000	55,000	56,000	57,000	57,000
年間の公民館利用人数		54,600				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
青垣生涯学習センター管理事業	生涯教育課	76,152	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
生涯学習事業	生涯教育課	11,471	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		87,623			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい (説明) 年間の公民館貸館件数及び利用人数は概ね達成しており、更に子ども教室の参加人数を増やすと共に啓発活動を行うことにより目標達成は可能だと思われる。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 開館以来、町民の生涯学習の場として、多くの方々に利用されており、今後、更なる利用者の増が見込まれるので、施設環境等を損なわないように適切な維持管理を行う必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 今後、施設等が老朽化していく中で、取り替え時期・故障する機器等が多く出てくるので、出来るだけコストを抑える工夫を行い、施設の維持管理を行うこと。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	(説明) 今後、施設等が老朽化していく中、できる限りコストを抑えて施設を良好な状態に保ちながら、便利で快適に利用できるように、維持管理等を行う。				
[新規]	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	青垣生涯学習センター管理事業	76,152	87,493	4 優先的に取り組む	現状のまま
	生涯学習事業	11,471	17,840	3 普通	現状のまま
	計	87,623	105,333		
内部評価のコメント	来館者・利用者が安全かつ快適に利用できるよう管理運営を行い、コスト削減に努めることが必要である。				
外部評価委員のコメント	青垣生涯学習センターは公民館と共に町民の生涯学習の場であり拠点である。町民が安全・快適に利用できる施設として整え、管理運営に際してはできるだけコストを削減し、より多くの町民が利用できるよう努められたい。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	図書館事業の充実			総合計画位置づけ	2-2-3
部名	教育委員会	主担当課名	図書館	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	町民が読書の楽しみを知り、趣味や生きがいを持って豊かな生活が送れるように資料を提供し、自発的な学習の支援を行うと共に、地域の情報拠点としての図書館サービスの充実をはかる。
施策概要	郷土資料を含む多種多様な分野の資料を収集し、蔵書の充実を図る。学校等との連携を図り、子どもの読書活動を推進する。各種講習会や広報活動を行い、利用の促進を図る。録音図書を作成、点字資料・大活字本の収集を行い、障害者サービスの充実を図る。多様なレファレンスに対応するため、資料に精通した職員の育成に努める。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
蔵書冊数	冊	168,100	179,000	184,000	189,000	194,000
(説明) 年度末の蔵書冊数		168,640				
貸出冊数	冊	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
(説明) 年間の個人・団体・相互総貸出冊数		574,436				
登録率	%	50	50	50	50	50
(説明) 町民の図書館利用カード登録率		49				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
図書館収集提供事業	図書館	20,069	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
子ども読書活動推進事業	図書館	23	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館利用促進事業	図書館	0	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館運営管理事業	図書館	2,513	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		22,605			

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	文化活動の促進			総合計画位置づけ	2-2-4
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	文化芸術発展のため、子どもから大人まで参加出来る作品展示や芸能発表会の開催をする。また、地域の生涯学習の拠点である地域公民館のハード面での支援をする事により地域の文化発展に寄与する。
施策概要	毎年文化祭を開催する。地域公民館の新築・改修・修繕に対し補助金を交付する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
出展数	点	600	800	800	800	800
(説明) 文化祭の出展数		893				
来場者	人	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
(説明) 文化祭の来場者数		3,000				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
生涯学習事業	生涯教育課	11,471	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		11,471			

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	スポーツに親しむ環境の整備	総合計画位置づけ	2-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	-

1. 施策概要

めざす 成果目的	町民の健康増進や体力向上を目指すために、スポーツ施設の環境整備を促進する。
施策概要	町民のスポーツ活動の拠点として、各体育館・健民運動場及びテニスコート等の環境の整備を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
施設見回り回数	回	200	200	200	200	200
(説明) 施設の年間見回り回数		185				
施設整備日数	回	150	150	150	150	150
(説明) 年間整備回数		150				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
体育施設管理事業	生涯教育課	31,864	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
計		31,864			

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	総合計画位置づけ	2-3-3
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	-

1. 施策概要

めざす 成果目的	住民だれもが気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう、活動機会の充実を図る。
施策概要	卓球やバドミントン等のスポーツ教室の開催や各種競技大会を開催する。また、だれもが参加できるニュースポーツの集いや歩こう会等を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及・啓発を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
スポーツ教室	回	250	250	250	250	250
(説明) テニス・ソフトテニス・ジュニア サッカー・バドミントン・卓球		210				
スポーツ大会参加人数	人	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
(説明) 春季・秋季総合競技大会・マラ ソン・駅伝大会等に参加した		4,650				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育課	7,628	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地が あるが時間が必要
計		7,628			

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	生涯スポーツの推進			総合計画位置づけ	2-3-3
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	町民が生涯にわたり、健康で充実した生活が送れるように、また自主的・継続的にスポーツ活動ができるように生涯スポーツを推進する。
施策概要	町民のスポーツに対する関心が高まっている中、多様なニーズに対応できるように、今後も各種競技大会(野球・ソフトボール・剣道・バレーボール)19競技等を更に充実させるとともに、指導者の育成にも取り組む。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
研修会の開催数	回	2	2	2	2	2
(説明) 指導者の育成研修		1				
(説明)						
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育課	7,628	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
社会体育総務事業	生涯教育課	11,282	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		18,910			

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	文化財の保存整備体制の充実	総合計画位置づけ	2-4-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす 成果目的	文化財を将来にわたって、保存・管理し、文化財情報を発信できる状態にする。
施策概要	発掘調査された出土品や写真・図面資料等を整理し、出土品の内容を一般公開していく。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
遺物再整理の進捗率 (説明)収蔵する遺物の資料 データ化進捗率	%	25	30	35	40	45
		25	—	—	—	—
資料の登載点数 (説明)展覧会用・書籍掲載用 に貸出できる状態になった遺 物点数	点	200	200	200	200	200
		418	—	—	—	—
資料の貸出点数 (説明)展覧会用に貸出した遺 物点数や書籍掲載用に貸出 した写真点数	点	200	200	200	200	200
		298	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化財保護事業	文化財保存課	7,729	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	C:見直す余地が ない
遺跡発掘調査事業	文化財保存課	2,635	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	C:見直す余地が ない
遺跡発掘調査受託事業	文化財保存課	791	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	C:見直す余地が ない
町事業発掘調査事業(費用は各事業課)	文化財保存課	3,549	A:高い(義務)	C:目標とする成 果が得られなかった	C:見直す余地が ない
計		14,704			

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	歴史遺産の活用			総合計画位置づけ	2-4-2
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課	担当課名	—

1. 施策概要

めざす 成果目的	唐古・鍵考古学ミュージアムにおいて、発掘調査の成果やミュージアムの収蔵品、町内の文化財等を紹介する展覧会を開催し、より多くの人に田原本町の歴史遺産を知っていただく。
施策概要	ミュージアムを開館し、常設展を観覧できるようにする。また、平城遷都1300年記念事業関連で、秋季企画展を通常より長い44日間開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
常設展来館者数	人	7,000	6,500	6,000	6,000	6,000
		(説明)常設展示を観覧した人数	7,468	—	—	—
企画展来館者数	人	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		(説明)企画展に入館した人数	1,307	—	—	—
(説明)			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	文化財保存課	6,143	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		6,143			

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	郷土愛・文化財愛護精神の育成	総合計画位置づけ	2-4-3
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	青少年や町民が、文化財の知識を深めるとともに身近にある文化財に対して愛護精神を高め、郷土愛が育成されたまちになっている。
施策概要	考古学実践講座や体験学習の場を提供するとともに、学校とも連携をとり、それを支援するボランティア組織と文化財活用を図る。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
講座・体験学習等参加人数 <small>(説明)考古学講座・体験学習・小学校総合学習等参加人数</small>	人	600	600	600	600	600
		1,416	—	—	—	—
ボランティア活動人数 <small>(説明)ミュージアムガイド、体験学習ボランティア等、参加延べ人数</small>	人	1,000	1,000	800	800	800
		753	—	—	—	—
			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業(文化財保存課	6,143	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		6,143			

